



# 両中四季



令和7年12月19日 第9号

## 新しい年に向けて

黄金色の時期を終え、冬枯れの景色へと移ろった周辺の田畠に、白く霜が降りる朝が増えてきました。一見、寂しさを感じさせるこの風景も、その土の下では、次の春に向けて静かに生命力が育まれています。



この大地の営み同様に、これまで学校のリーダーとして活躍してきた3年生から後輩にバトンが引き継がれる時期になりました。先日行われた生徒会役員選挙では、3名の生徒が立候補し、全校生徒から高い信任を得て当選しました。それぞれの抱負を紹介します。



新会長  
I.R.さん



新副会長  
K.M.さん



新書記局長  
K.T.さん

私は「全校生徒が仲よく過ごせる学校」を目指します。委員会や行事等、みんなが楽しく活動できるよう工夫し、学校全体の雰囲気をさらに盛り上げていきたいと思います。そのためには、違う学年同士の交流を増やしたり、挨拶運動を改善し、自ら進んで挨拶のできる取組にしたりしていきたいです。不安なこともありますが、自分自身がポジティブな考えをもち、楽しく頑張っていきます。

私は「不安なく安心して挑戦できる学校」を目指します。そのため挨拶週間にを中心に、学校全体に活気のある挨拶を広げていきます。また、相手の意見を否定せず、互いを尊重し合う新たな取組として「肯定コミュニケーション週間」にも挑戦します。私は挑戦することを恐れず、前向きに行動する姿勢を大切にしていきます。そして、生徒一人一人が自分らしく輝ける学校をつくっていきます。

書記局長として、生徒会活動がスムーズに進むよう、会議記録やお知らせを丁寧に行っていきたいと考えています。みんなの意見を大切にし、役員の皆さんと協力しながら、分かりやすく正確に情報を伝えられる生徒会を目指します。一つ一つの仕事に真剣に向き合い、責任をもって取り組んでいきます。先生方や生徒の皆さんから信頼してもらえる書記局長になれるよう精一杯頑張ります。

新三役は、12月2日（火）に行われた第3回学校運営協議会に代表生徒3名とともに参加しました。自身の公約を基に、地域の方と「目指す生徒会の実現」に向けて熟議を行いました。また、地域の方からは「あいさつ」「夢を諦めない」「他者・自己受容」「自主性」など、これからの中生に期待する姿を語っていただきました。これらの願いや思いも受け止めながら、新しい中生徒会を力強くリードしていってほしいと思います。



「ミャクミャク」「酷暑日」「WS2連霸」「働いて、働いて・・・」「熊」など、激動の令和7年も残りわずかとなりました。各ご家庭におかれましても、お子さんの姿に時に喜んだり、時に苛立ったりすることもあったのではないかと思います。先週の個別懇談会では、そんなお子さんの姿や保護者の思いについて、じっくりと語り合うことができ、大変有意義な時間となりました。お忙しい中、ご来校いただき、ありがとうございました。

令和8年が生徒一人一人にとって明るい未来につながる素敵な年になるよう、安心して過ごせる学校づくりを進めていきます。新しい年も、どうぞよろしくお願ひいたします。